


●日田市のえのき経営の特徴

【産地紹介】 大山町のえのき栽培は30年の歴史があり、独自の手法で育てたブランド「マッシュルク」は年間3,000トンを目標に出荷されています。生産者の高齢化が進んでいますが、「大山えのきファーマーズスクール」で卒業生も輩出し、現研修生も活気があります。

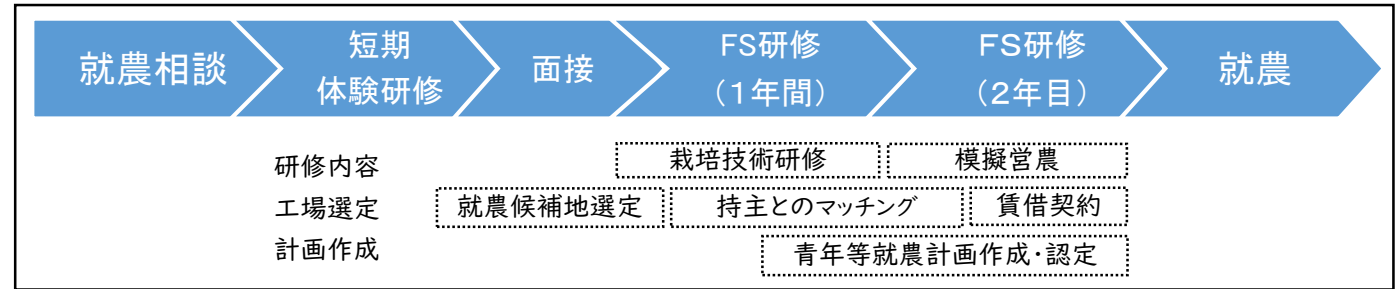
【栽培施設等】 えのき栽培は、原木の状態から収穫、出荷調整までの一貫した作業を工場内で行います。工場の新設は多額の資金が必要となるため、ファーマーズスクールでは、離農者等の第三者継承施設の確保を基本にしています。栽培に必要な空調設備、包装機および収穫後のノコクズ掻き出し機などの導入が必要ですが、継承する工場が居抜き物件（設備がそのまま残っている物件）であれば、必要に応じて修繕して使用も可能です。

【栽培・出荷】 栽培の元になる原木を大山町農協から購入し、工場内で厳密に温度・湿度管理を行いながら栽培します。収穫したものは包装し、大山町農協へ出荷。他品目と比較して天候に左右されず栽培可能で計画的に経営を行うことができるのが最大の利点です。

●えのき栽培の1年

内容 / 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
原木搬送	 <p>えのきの栽培は閉鎖型施設(工場)内で温度・湿度管理を厳密に行い、左図のように原木が入ったビンと並べて栽培管理を行います。</p>											
芽出し・抑制												
収穫・計量・包装												
出荷・掻出し												

●就農までの流れ



就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/本)

●えのき 756本/日 79.8+(380g/本)

販売額・所得

●販売額 1,900万円
●所得 400万円

従事者

●家族 2人・雇用 1人 (周年)

★経営規模・
収量の維持

就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/本)

●えのき 756本/日 79.8+(380g/本)

販売額・所得

●販売額 1,900万円
●所得 400万円

従事者

●家族 2人・雇用 1人 (周年)

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

- 合同会社MK
出荷規模（原木ベース）756本/日
販売額 2,600万円
構成員 2名
（臨時雇用あり2名）

◎ファーマーズスクール卒業生2人で設立した会社です。
日々、高品質なえのきの出荷を心がけて栽培に取り組んでいます！



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

大山えのきファーマーズスクール

- 農事組合法人大山木の子、大分大山町農業協同組合えのき部会
- 大分大山町農業協同組合
- 日田市農業振興課、大分県西部振興局農山村振興部・生産流通部

現場での技術指導はもちろん、座学での基礎知識の補完、就農に向けた経営計画作成指導、農地の確保に係る支援などを通じて、就農までサポートしていきます！

●日田市の支援策

- 就農支援
短期研修制度、研修期間中の家賃の一部補助
- 空き家バンク
市内の空き家バンク登録物件を紹介します。
- 移住者ひた暮らし支援
空き家バンク登録物件を対象に購入や引越し費用等の補助を行います。
- 木づかい促進事業
日田材を使った住宅の新築やリフォームに対して、日田材又は日田家具を支給します。
- 子育て支援
子ども医療費助成（中学生まで医療費無料）
ひたっ子にこにこ保育支援（3歳未満の第2子以降は保育料無料）

●産地が求める人材

- ①健康な方
- ②就農に対して強い意志・意欲のある方
- ③地域との交流が行える方
- ④満18歳以上の方
- ⑤丁寧かつ観察力のある方
- ⑥日田市内に居住できる方
- ⑦生活費を除いて、農業に投じることの出来る資金を準備できる方

- 募集人数 随時募集
※申込時の研修生数等に応じて要相談
※綿密な就農相談および短期研修は必須

●問い合わせ先

大分大山町農協
〒877-0201 日田市大山町西大山3487
TEL:0973-52-3151
FAX:0973-52-2448
メール:kanri@oyama-nk.com
ホームページ:http://www.oyama-nk.com/

日田市役所 農業振興課
〒877-8601 日田市田島2丁目6番1号
TEL:0973-22-8211
FAX:0973-22-8246
メール:nosei@city.hita.oita.jp
ホームページ:https://www.city.hita.oita.jp/

日田市ホームページ
（農業振興課）

